

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年3月23日	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	山部エリ
レジメン名	PLDC療法(ホスアプレビタント)		
疾患名	卵巣がん	適応の備考	がん化学療法後に増悪した卵巣がん
適応分類	進行・再発、術後化学療法		
1コース日数	28	日間	総コース数
			コース
			催吐性リスク
			高度

抗がん剤投与量・投与日 〓ドキシル30mg/m² day1、カルボプラチン5AUC/body day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																													
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																													
2	主ルート	ハロセトン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																													
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																													
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																													
3	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15 分	●																													
	点滴静注																																	
4	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body		●																													
	点滴静注	ドキシル注	30 mg / m ²	1mg/分	●																													
投与量90mg未満では5%糖液250mLで希釈。90mg以上では5%糖液500mLで希釈																																		
5	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15 分	●																													
	点滴静注																																	
ルートフラッシュ用																																		
6	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90 分	●																													
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body		●																													
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																													
	点滴静注																																	
8	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●																												
		分2 朝食後																																
9	経口投与	デカドロン錠	16 mg / body				●	●																										
		分2 朝食後																																

【投与上の注意】

- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・ドキシル: 最大投与量は500mg/m²。